



「救世主国」エルサルバドルでの 生活と協力隊活動紹介

日程：10月29日（火）午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

講師：森田英津子さん

（公益社団法人 青年海外協力協会 JOCA大阪）

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付



漢字で書くと「救世主国」。中央アメリカに位置する米州大陸で最も小さい国エルサルバドルは、良質なコーヒー豆の産国としても知られ、2021年は世界で初めてビットコインを法定通貨にした事がニュースになりました。1979年に政府軍とゲリラ勢力の間で内戦が勃発し泥沼化、多くの犠牲者が出て1992年の終戦後は犯罪と暴力が蔓延しました。昨今抱える問題は「マラス」と呼ばれる強大なギャング集団による権力抗争と凶悪犯罪で、政府は治安の安定、マラス一掃を重点課題にあげています。現在政府の強硬政策により世界で最も治安が悪いと言われた国は一変、日常生活で治安の悪さを感じる事は殆どありません。エルサルバドルには2022年のコロナ禍、JICA海外協力隊・日本語教育の職種で赴任しました。国と活動の話しをメインに、中南米の魅力もご紹介できればと思っています。

～講師からのメッセージ～

首都サンサルバドルにあるエルサルバドル国立大学に赴任しましたが、コロナ禍で授業は全てオンライン。「現地の人と向き合っ
て一緒に行える活動」を模索し続けた2年間でした。様々な要因
が重なり、日本語教育に特化した活動はあまり出来ませんでした
が、日本や日本文化、日本語に興味を
持ってもらいたいと一般の人を対象に
様々な日本文化クラスを行い、そこで
現地の人達と交流を深める事ができ
ました。作品が出来あがった時の皆さん
の嬉しそうな顔は今でも忘れられませ
ん。活動や日常生活で感じた喜怒哀楽、
またエルサルバドルについて皆さんに
知って頂けると嬉しいです。



主催：摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 コミュニティプラザ2階

TEL 06-6319-6251 FAX 06-6318-6004

Email:office@settsu-saie.org



ホームページ

